

わくわく にしこおり

令和 5年 2月 6日
富田林市立錦郡幼稚園
園長室 NO.50

節分、そして立春・・・～自分のこころの鬼は～そとっ！～

節分とは季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことをいい、一年に4回あります。旧暦では春から新しい年が始まるとされていたため、「立春」前日の節分は大晦日に相当する大切な日となっています。昔は季節や年の分かれ目には「邪気」（人に害を与えようとする心、悪意、病気を起こす悪い気）が入りやすいと考えられており、様々な「邪気祓い」の行事が行われてきています。「豆まき」も新年を迎えるための邪気祓い行事のひとつです。鬼は邪気や厄の象徴とされていて、形の見えない災害、病、飢饉など想像を超えた恐ろしい出来事は鬼の仕業とされていました。また、鬼を追い払う豆は、五穀の中でも穀霊が宿るといわれる大豆です。煎った大豆を使います。本来、家中の戸を開け放し「鬼は外！ 福は内！」と大きな声で唱えながら家の外と内に豆をまくこととされています。

いちご組もみんなで鬼退治です。→

園では、豆まきをする前に、自分の中にある直していきたい状態、「怒りっぽい自分、片付けをしない自分、人の話をきちんと聞かない自分、食べ物ははじめ好き嫌いの多い自分、自分が良ければと考えるしまうなど」を鬼と見立て豆をまいて追い払おうと話しました。幼稚園では、季節を感じることでできる行事が多く、忘れ去りかけていた伝統や慣習に心洗われることが多いと感じています。発達段階に合わせてしっかり伝えていきたいと思っています。

一番下の写真3枚は、生活発表会に取り組んでいる様子です。毎日みんなでとても楽しんでやっています。

みんなで豆まきをしていると、突然大きな怖そうな鬼が現れました。昨年のように私が「鬼役」だと思っていたみんなはびっくり仰天でした！



豆を投げて鬼を退散させた後は、「びっくりしたなあ…」と言いながらも作った豆まきグッズとともに記念撮影しました。めでたしめでたし！



担任の先生とアイデアを出し合いながら、少しずつ劇の練習を進めています。必要な小道具や大道具なども協力して作成しています。

